

技術・研究分野 | 調査・研究

355

奥山の急傾斜地における20トン荷重に耐えられる林業用路網開発研究

住友林業(株)、旭化成ジオテック(株)、(株)朝日土質設計コンサルタント、十津川村森林組合



概要

奥山の森林資源は、都市近郊の森林資源との間に産地間競争があると言える。したがって、都市近郊林や外材との競争に打ち勝つために、効率的な生産と物流の構築が必要不可欠である。ヨーロッパ並みの大型トラックや高性能林業機械の活用が必要である。大型トラック等が安心して通行でき、かつ集中豪雨等の気象害に耐えられる規格の路網開設が必須と言える。コスト削減と効率化のために大型トラック等が活躍できるような安全性と耐久性が担保された科学的根拠に基づいた林業用路網の開設を行っている。

◆入手先:住友林業株式会社山林部林業企画グループへの問い合わせ
<http://bcov.me/opxf9wye>

評価ポイント 技術レベルが高い。地域貢献性や環境配慮性の面から、木材生産の伐採率を上げ、木材利用に資するインフラ整備の良質な取組として評価した。

技術・研究分野 | 調査・研究

356

ツイスト木造集成アーチの試作

東京大学大学院 木質材料学研究室



概要

木材にねじれを持たせ、負担をかける手法は通常、避けられるものである。しかし、個性的な空間を生み出すことから、これまでの技術に挑戦したいと考えた。本来であれば、連続ヴォールト屋根を作りたいところであるが、構造としては世界初のツイスト木造集成材アーチであるため、製作は難しい。現在のところでは、薄板を集成し、強い断面性能を獲得し、アーチの作り方を提案した。

◆入手先:東京大学大学院 木質材料学研究室

評価ポイント デザインの面白さにつながる技術提案であり、今後の期待を込めて評価した。強度計算など課題をクリアして欲しい。

技術・研究分野 | 試作品・展示用製作物

357

「BRO」信州カラマツを活用したベンチのデザイン提案

駒田 健治



概要

作品「BRO」は、信州長野県産の上質な唐松材の特性を活かし、造形的・構造的に特徴のあるデザインを施したベンチです。50ミリ角の唐松を集成してベンチの各部材を構成しています。連続する等幅の板目材の表面を柔らかい曲面で削り出し、唐松の美しい木目が現れています。座面と貫との接合部を蟻状に組み合わせて、唐松の暴れに抵抗し、デザイン的なアクセントにもなっています。

◆仕様:唐松材、オイル仕上げ、価格:要問合せ、入手先:駒田 健治/ハス・ディ・クラフト一級建築士事務所 <http://www.husdcraft.com/>

評価ポイント カラマツの意匠性を前面に出し、インパクトある外観は街中でも目を引く。地域性とデザイン性の両立を目指した点を評価。